

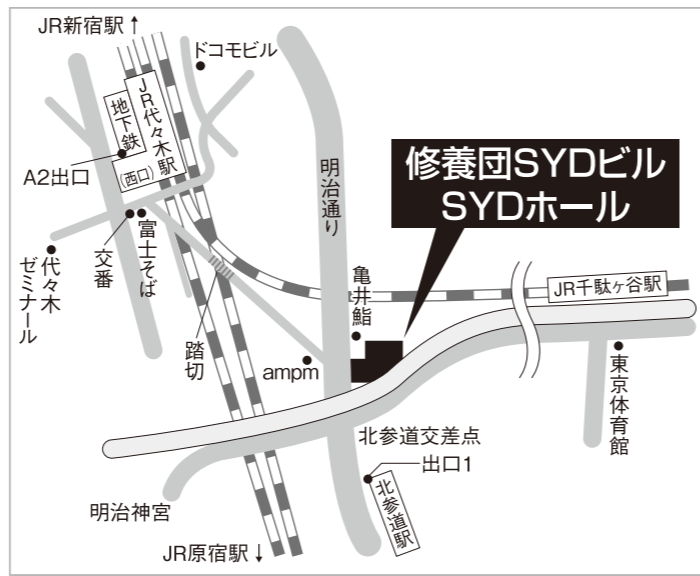
会場案内

会場 SYDビル SYDホール

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL 03-3405-5555

- JR山手線・総武線「代々木駅」西口より徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「代々木駅」A2出口より徒歩6分
- 東京メトロ副都心線「北参道駅」出口1より徒歩3分
- JR総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩7分

※ホールには駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
車でお越しになる場合は首都高速高架下の時間貸有料駐車場(千駄ヶ谷パーキング)をご利用ください。



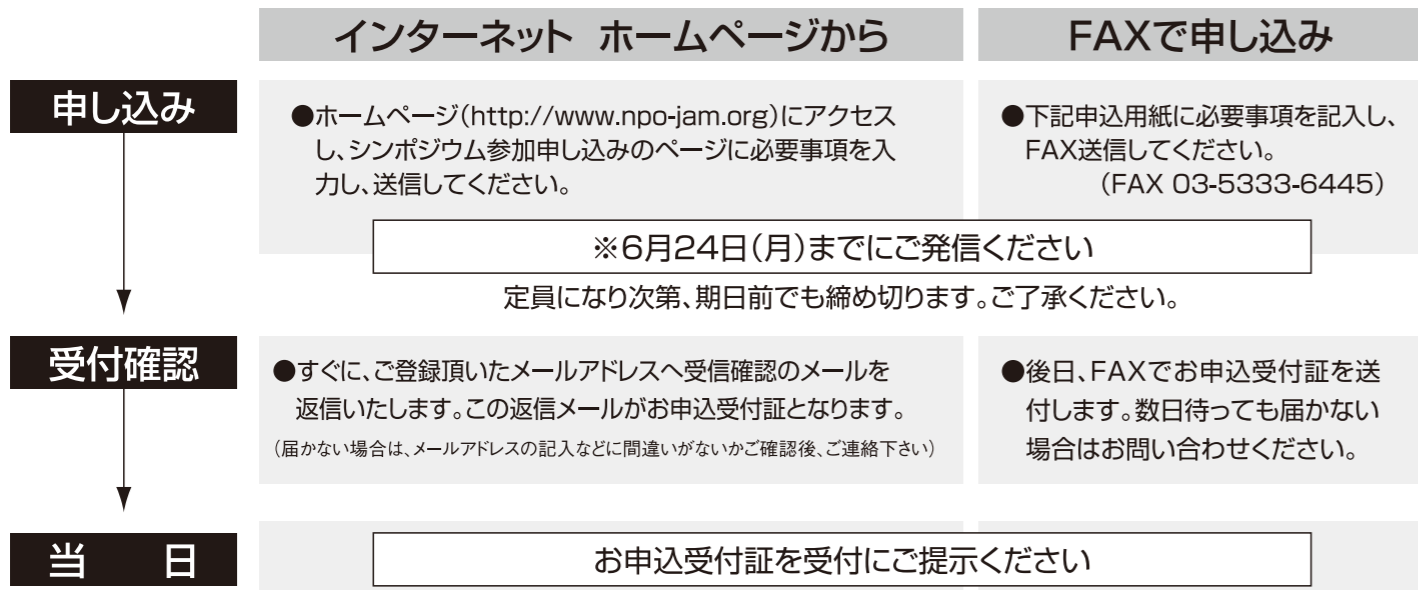
お問い合わせ・参加申込先

NPO法人 メンタルケア協議会 事務局

〒151-0053 渋谷区代々木1-57-4 ドルミ第2代々木 2F
TEL03-5333-6446 FAX03-5333-6445 net@npo-jam.org http://www.npo-jam.org

参加申込方法

事前登録 可能であればインターネットでお申し込み下さい。



当日受付 事前受付登録者が優先となります。
参加人数によって、ご入場・ご着席できない場合があります。ご了承ください。

FAX申し込み用紙 [FAX 03-5333-6445] ※申し込みはお一人様ずつお願いいたします。 FAX送信方向 ↑

ふりがな 氏名	勤務先名
	職種
住所 〒 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 自宅	TEL
	FAX
	e-mail
メンタルケア協議会 …… <input type="checkbox"/> 会員 ・ <input type="checkbox"/> 非会員	
メンタルケア協議会シンポジウムに参加するのは …… <input type="checkbox"/> 初めて ・ 回目	

NPOメンタルケア協議会 ミニシンポジウム

産後うつ病を学び、 妊産婦への支援について考える

～妊産婦の自殺防止、産褥期の児童虐待防止～

令和元年
6/30
13:00~16:30 日
SYDホール
(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

【参加費】 会員…無料 一般…2,000円
【同日開催】
NPOメンタルケア協議会 第18回定期総会
令和元年度第2回理事会

産後うつ病を学び、 妊産婦への支援について考える

～妊産婦の自殺防止、産褥期の児童虐待防止～

妊産婦の死因を見ると、1位が自殺です(表1)。「産後うつ病」など精神面の不安定さが主な原因と考えられています。産後うつ病は、出産後に誰でもなり得る疾患です。

目黒区児童虐待事件の被害者は5歳でしたが、児童虐待死の年齢構成を見てみると、0歳児が47.5%と約半数を占めています。中でも“0日児”が18.6%です。その加害者の55.6%は実母でした(表2)。産褥期の母親が、追い詰められて、虐待死を招いていると考えられます。

妊娠出産は人生の輝かしい瞬間ですが、そのとき妊産婦は、子育てへの不安、生活環境の変化への不安、マタニティブルーや「産後うつ病」による精神的変調に直面していることがあるのです。さらに、トラウマや虐待歴のある女性は、その影響から産後うつになりやすいこともあり、特に支援が必要になります。

私たちは妊産婦が直面するかもしれない大変さにもっと理解を深め、妊産婦をもっと強力に支援する必要があります。

「産後うつ病」に造詣の深い岡野禎治先生をお招きし、妊産婦のメンタルヘルスについてご講演いただき、さらに、様々な妊産婦の支援に医療機関と地域で取り組んで来られたお二人の先生から実践経験をお聞きし、妊産婦支援のあり方について、医療機関と地域との連携、多職種連携の工夫について考えてみます。

表1

産後1年までに死亡した妊産婦の主な死因と人数(2015～2016年)	
自殺	102
がん	75
心疾患	28
脳神経疾患	24
出血	23
妊娠高血圧症候群	11
総数	357

厚生省研究班(代表=国立成育医療研究センター研究所の森臨太郎部長) ※朝日新聞2018年5月20日の記事より

表2

心中以外の虐待死685例、727人(平成16～28年)
● 0歳児の割合は47.5%、中でも0日児の割合は18.6%。
● 3歳児以下の割合は77.0%を占めている。
● 加害者は実母が55.6%と最も多い。
● 家庭における地域社会との接触状況がほとんど無い事例は39.5%であった。
<small>社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会による検証結果より抜粋</small>

■ プログラム

11:30～12:15	第18回定期総会
12:15～12:30	令和元年度第2回理事会
13:00～13:10	開会挨拶 羽藤 邦利 メンタルケア協議会理事長・代々木の森診療所理事長
	【座長】 西村由紀 メンタルケア協議会理事 織戸宜子 代々木の森診療所医師
13:10～14:20	【講演①】「妊産婦と自殺予防」 岡野禎治 日本周産期メンタルヘルス学会前理事長、 三重大学保健管理センター教授
	《休憩10分》
14:30～14:55	【講演②】「周産期メンタルヘルスケアにおける多職種連携」 新井陽子 北里大学看護学部生涯発達看護学准教授
15:55～15:20	【講演③】「負の世代間伝達を断ち切ることへの援助 ～トラウマを持つ母の症例を交えて～」 織戸宜子 代々木の森診療所医師
	《休憩10分》
15:30～16:20	【ディスカッション】 パネラー 3名
16:20～16:30	閉会挨拶 大下 隆司 メンタルケア協議会副理事長

■ 講師プロフィール

岡野 禎治 おかの・ただはる (日本周産期メンタルヘルス学会前理事長、三重大学保健管理センター教授)

1980年 三重大学医学部卒業。1990年同講師
1996年 ロンドン大学精神医学研究所
2009年 三重大学保健管理センター教授
2018年 三重大学名誉教授
2003年から2019年3月まで、日本周産期メンタルヘルス学会理事長
Archives of Woman's Mental Health編集委員

新井 陽子 あらい・ようこ (北里大学看護学部生涯発達看護学准教授)

1992年 北里大学看護学部を卒業後、北里大学病院産科病棟に助産師として勤務。
2004年から北里大学大学院で産後うつの専門研究を手がける。07年同大学院博士課程修了。同年北里大学看護学部に着任。
10年より現職。助産師、看護師、保健師、家族相談士。看護学博士。

織戸 宜子 おりと・よしこ (代々木の森診療所 医師)

精神科(精神保健指定医)・内科・心療内科
兵庫医大卒業、神戸大学病院にて研修。
内科(主に糖尿病内科)診療を行いつつ、バルモア病院・神戸海星病院にて女性心療内科外来を立ち上げ、女性のメンタルヘルスに長年携わる。
その後、東京慈恵医大、総武病院を経て、精神科診療、2018年5月より代々木の森診療所。